



2022年11月14日

各 位

会 社 名 株式会社 トミタ
代表者名 代表取締役社長 富田 稔
(コード: 8147 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役総務部長 中村 龍二
(TEL 03-3765-1219)

2023年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と 実績値との差異に関するお知らせ

2022年5月16日に公表いたしました2023年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期第2四半期(累計)業績予想値と実績値との差異

第2四半期(累計)連結業績 (2022年4月1日~2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 9,800	百万円 220	百万円 270	百万円 170	円 銭 32.79
実績値(B)	8,837	178	302	221	42.68
増減額(B-A)	△962	△41	32	51	
増減率(%)	△9.8	△18.8	12.0	30.2	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期第2四半期)	9,376	186	346	263	50.84

2. 差異の理由

売上高、営業利益につきましては、積極的な受注活動を行い受注額が増加したものの、半導体や一部部品不足を主因とした長納期化の影響により、予想値を下回りました。

経常利益につきましては、急激な円安による為替差益の発生により、予想値を上回りました。

また、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、投資有価証券売却益の発生により、予想値を上回りました。

なお、当社グループは、半導体・建機関連等の需要が旺盛な業界や航空機関連、医療機器関連業界への営業の強化及び欧州の最先端の自動車部品製造用機器の取扱いを増やし、営業基盤の拡大に努めております。しかしながら、通期の業績予想につきましては、世界的な半導体や部品不足の継続、ウクライナ情勢の長期化やサプライチェーンの混乱等、事業環境は依然として不透明であることから、現時点では2022年5月16日に公表いたしました予想を据え置くことといたしますが、今後、修正の必要が生じた場合は、速やかに公表いたします。

以 上